



実りおおき秋を迎えて

学校長 金子 一雄

運動会では、たくさんの保護者、地域の皆様に、熱い声援をいただきましてありがとうございました。また、運営にあたっては、地域団体、保護者のみなさまのお手伝いをいただき、無事終えることができました。この場をかりてお礼申し上げます。

本年度の運動会も、児童の運動委員会を中心にし、児童の発想やアイデアを随所に取り入れました。紅白のマスコット制作、聖火点灯セレモニーやスローガン発表、応援団の応援方法、全校ダンスなど児童の考えをもとに構成、活動しました。当日ばかりでなく、一か月以上も前から児童は用意してきました。そういう背景もありましたので、競技や演技や開会式閉会式で皆様から頂いた声援は、児童は、たいへんうれしく感じておりました。これからも、児童自身で作り上げる行事を増やし、児童の主体性や活動に対する意欲を培う場づくりを心がけたいと思っています。

さて、読書の秋を迎えています。本校では、11月11日(月)から11月22日(金)までを、「秋の読書週間」として読書の奨励をしていきます。それに先立ち8日(金)には、「担任入れ替え読み聞かせ」を、期間中は、児童の図書委員会の活動を中心に「読書スタンプラリー」を行い、規定より多く本の貸し出しが受けられるパスポートの発行などの取組を行います。

ところで、高田小学校の図書館の貸出数は、近年急激に増加しています。下のグラフは、2016年～2019年の月間の貸出数をグラフにしたものです。例えば5月を例にとると、2016年には、480名でしたが、2019年には、1380名と3倍近く貸出数は増加しています。本好きな児童が増加し、それが貸出数に反映しているものと思っています。本好きな児童が増え、読書量が増すことは、学習面の「知識の増加や理解力を培う」というばかりでなく、精神面でも「豊かな心の育成」に役立つもので、大変うれしい限りです。

高田小学校では、もう何年も前から、図書ボランティアの方々による「読み聞かせ」や「図書館の飾りつけ」などの取組、PTAが中心になって行っている廃品回収の収益金を活用しての蔵書の購入など、学校の図書活動に保護者、地域の皆様から大きな支援をいただいております。さらに、2016年からは、学校司書さんが配置され、きめ細かな様々な取組を行っており、貸出数の急激な増加は、それらの取組の結果として表れてきたものと考えています。ありがとうございました。

図書ボランティアの皆さんが行ってきた朝の時間を使っただけの「読み聞かせ」は、本好きな児童を増やすのに大きな効果があったものと思っていますが、今年は、読書がある程度浸透してきたと判断し、高学年では、「読み聞かせ」の時間を減らし、自ら本を読む「読書」の時間を増やすという一歩進んだ取組を行っています。

これからも高田小学校では、図書活動に力を入れていきたいと考えています。変わらぬご支援をお願いいたします。

